

【社会】



＜学習内容＞「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆「縄文のむらから古墳のくにへ」（教科書 16～23 ページ）をもとに、弥生時代や古墳時代の様子について、それぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 弥生時代（教科書 16～17 ページ）の様子について下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

弥生時代には、食料や水、道具などをめぐって、（ ）と（ ）の間で（ ）が起こるようになった。やがて、指導者は、強い力をもって（ ）を支配する（ ）となっていった。
その中には、くにをつくり、（ ）とよばれる人も現れた。

- (2) 古墳時代（教科書 18～19 ページ）について答えよう。

ことば(P18)

写真①仁徳天皇陵古墳（教科書 18 ページのような古墳は全国で 16 万基以上あると言われています。

- ①古墳は何のためにつくられましたか。
②古墳にほうむられた人物の力の大きさは、古墳のどのようなところからわかりますか。

- (3) 大和朝廷（教科書 20～21 ページ）について考えよう。

ことば(P20)

- ①大和朝廷とはどのようなものか、教科書を読んで、取組シートやノートに書きましょう。
②資料①②③（教科書 20 ページ）から、埼玉県と熊本県の古墳から「ワカタケル大王」（大和朝廷の大王）の名前がきざまれた刀剣が見つかっていることがわかります。このことから、どのようなことが言えますか。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・歴史の学習は知識を暗記することがすべてではありません。前の時代と次の時代の移り変わりを人々の生活の変化と合わせて考えることが大切です。弥生時代から古墳時代へ移行する時代は、米づくりをめぐり、争いが起こるなど、社会の様子が変わっていったことを捉えやすい時代と言えます。